

平成23年度一般会計当初予算説明資料

8 款 土木費

6 項 住宅費

住宅政策課（内線：7398）

2 目 住宅建設費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取エコハウス推進事業	8,032	3,613	4,419	4,016			4,016	
トータルコスト	12,825千円（前年度 6,840千円）〔正職員：0.6人〕							
主な業務内容	鳥取エコハウスのプロダクト化検討、研究会及び講習会開催							
工程表の政策目標（指標）	平成27年度におけるCASBEEを利用した新築の戸建木造住宅の着工割合5%を目指す。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

本県の気候・風土等に適し、県産材を多用した鳥取型環境配慮住宅（鳥取エコハウス）の開発を行い、消費者に分かりやすく提示し、工務店、建築設計事務所の受注拡大、県産材の需要拡大につながる仕組みを構築する。

2 主な事業内容

環境配慮型住宅の普及促進を目的に、住宅供給者の体制整備や育成に向けて、鳥取エコハウスのプロダクト化の検討及び木造住宅の設計施工に関するセミナーを開催する。

（単位：千円）

項目	予算	内容
鳥取エコハウスプロダクト事業化検討	3,906	地元の工務店、設計事務所等による鳥取型環境配慮住宅（鳥取エコハウス）の効率的生産システム（プロダクト化）を構築。 これまでの研究会による成果（設計基本ルール及び県産材の規格化）を踏まえ、基本形となる住宅の設計、積算等を設計・工務店・地場産業事業者等で構成される事業グループに委託。
鳥取エコハウス研究会の開催	244	鳥取エコハウスの設計仕様書等の策定及び事業化に向けての検討を行うため、平成21年度から実施している鳥取エコハウスの研究会を引き続き実施。
とっとり木の住まい塾の開催等	3,882	設計者、工務店、木材関係者を対象に住宅の省エネルギー対策、環境配慮、木構造など環境にやさしく安全で安心な木造住宅の設計施工に関する技術力の向上を目的とした講習会を民間団体に委託して開催。（6回） 木造住宅の耐力壁に使用するため、県産スギ材厚板の強度性能試験を実施。
計	8,032	

3 これまでの取組状況、改善点

- ・CASBEE戸建評価員講習会を開催し、CASBEE戸建評価技術者の養成を行った。
- ・鳥取エコハウス研究会において、鳥取エコハウスが目指すべき家について検討を行い、それを実現するための基本ルール及び県産材の安定供給等を図るための県産材の規格化を検討した。
- ・具体的な事業化に向けては、住宅取得者や地元工務店にイメージ、コスト、魅力などを分かりやすく提示し、商品化に向けた検討を行うことが必要。